

令和 2 年度第 1 次補正予算の概要

ス ポ ー ツ 庁

(単位：億円)

令和 2 年度
第 1 次補正予算額

- 子供の運動不足解消のための運動機会創出プラン** 3

新型コロナウイルスの感染リスクに備え、全国の学校に対する一斉の臨時休業の要請と、全国的なスポーツ・文化イベントの中止等の要請が行われたため、子供の運動不足による体力の低下が懸念されている。今後、学校の一斉休業が解除され、子供の遊ぶ機会が一定程度増えることは予想されるが、一度失われた運動習慣を取り戻すことは容易ではない。早急に対応が必要な状況となっており、子供が安心・安全に楽しく気軽に運動遊びに親しめる機会を創出し子供の運動不足の解消を図る。

- 安全で安心してスポーツができる体育館・武道場の施設整備** 6

現在、新型コロナウイルスが世界的にまん延(パンデミック)しており、公共施設をはじめ多くの施設が閉鎖を余儀なくされ、地域住民や子供の運動機会を奪っている状況である。体育・スポーツ施設の中でも、体育館・武道場は、地域住民と子供に運動機会を提供する上で重要な施設である。本事業は、今般の感染症による上記の状況に対応するため、体育館等において、換気扇・ファン・空気調整機の必要な整備を支援するものである。

- スポーツイベントの再開支援** 9

スポーツイベントの主催者による会場における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策及び継続的な集客等のための広報への支援を行うことにより、スポーツイベントの円滑かつ本格的な再開又は実施を促進する。

- ハイパフォーマンススポーツセンター (HPSC) における感染症対策のための施設整備** 2

ハイパフォーマンススポーツセンターの国立スポーツ科学センター(JISS)は、競技力強化のためのスポーツ医・科学研究の中核拠点として、我が国のトップアスリートの強化活動を支えている。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、今般の新型コロナウイルスをはじめとする感染症の感染拡大防止のため、JISSの空調設備を整備する。

子供の運動不足解消のための運動機会創出プラン

令和2年度補正予算額：3億円

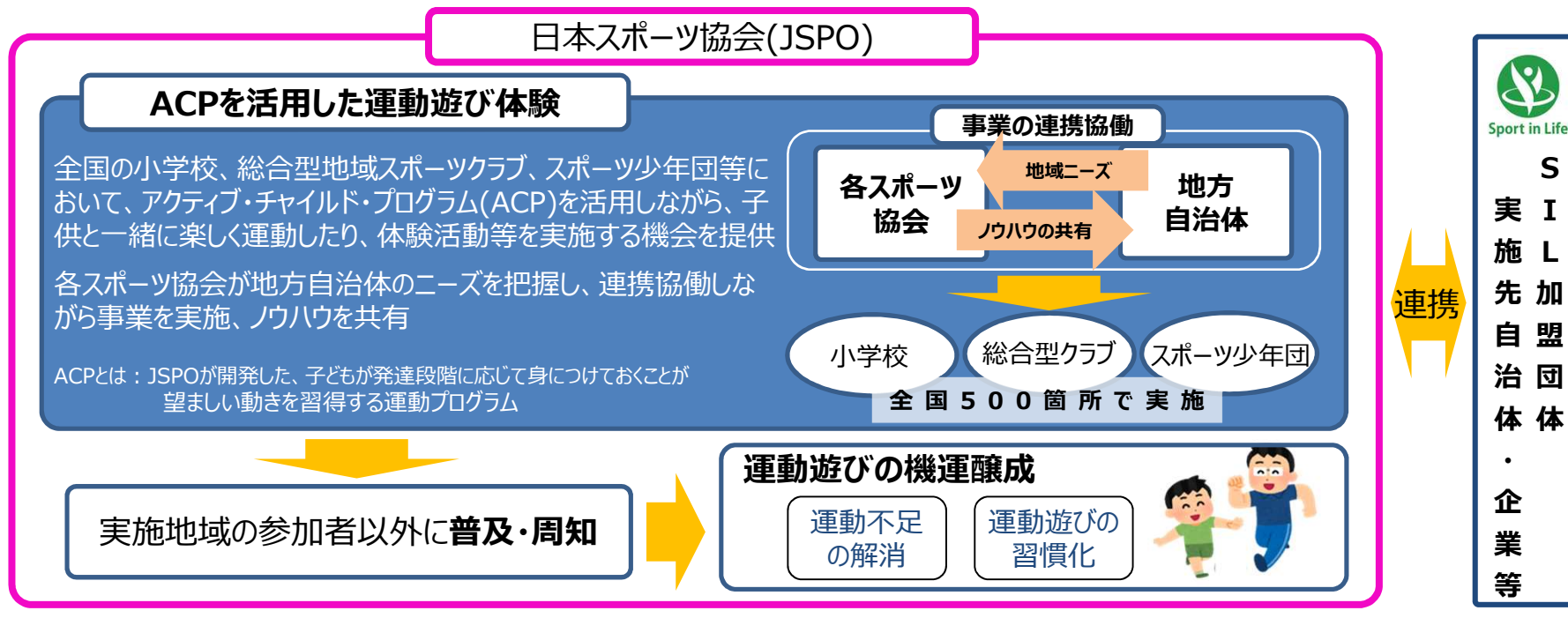
目的

新型コロナウイルスの感染リスクに備え、全国の学校に対する一斉の臨時休業の要請と、全国的なスポーツ・文化イベントの中止等の要請が行われたため、子供の運動不足による体力の低下が懸念されている。今後、学校の一斉休業が解除され、子供の遊ぶ機会が一定程度増えることは予想されるが、一度失われた運動習慣を取り戻すことは容易ではない。早急に対応が必要な状況となっており、子供が安心・安全に楽しく気軽に運動遊びに親しめる機会を創出し子供の運動不足の解消を図る。

具体的な事業内容

子供の運動不足解消のための機会創出

子供の体力向上を図るためには、誰でも楽しく気軽に苦手意識を持つことなくできる「運動遊び」が有効であるが、子供が運動遊びに親しみそれを習慣化させるためには、実際に体験し、その楽しさ等を学ぶことが必要。



子供が安心・安全に楽しく気軽に運動・スポーツに親しめる機会の創出と子供の体力向上

安全で安心にスポーツができる体育館・武道場の施設整備

(学 校 施 設 環 境 改 善 交 付 金)

令和2年度補正予算額：6億円

事業概要

現在、新型コロナウイルスが世界的にまん延(パンデミック)しており、公共施設をはじめ多くの施設が閉鎖を余儀なくされ、地域住民や子供の運動機会が奪われている状況である。体育・スポーツ施設の中でも、体育館・武道場は、地域住民と子供に運動機会を提供する上で重要な施設である。本事業は、今般の感染症による上記の状況に対応するため、体育館等において、換気扇・ファン・空気調整機の必要な整備を支援するものである。

●新型コロナウイルス感染症対策専門家会議(令和2年3月9日、19日)

…これまで、換気の悪い閉鎖空間で人が近距離で会話や発語を続ける環境、例えば、屋形船、スポーツジム、ライブハウス、展示商談会、懇親会等での発生が疑われるクラスターの発生が報告されています。…手洗いなどの基本的な感染症対策の徹底にもご留意ください。

クラスター(集団)の発生のリスクを下げるための3つの原則：1. 換気を励行する

●ポスト2020を見据えたスポーツレガシーの実現のための提言(令和元年12月3日、スポーツ議員連盟 スポーツレガシーの在り方に関する検討プロジェクトチーム)

熱中症対策のため、地域の体育・スポーツ施設における冷房設備の整備や気温の低い夜間での活動を可能とするナイター照明の設置等は急務である。スポーツ施設・設備の環境の整備により、プレイヤーの生命・身体の安全を確保できるだけでなく、地域住民への施設・設備の開放や、社会人のスポーツ実施率の向上、災害時の避難所環境の充実など効果も生じさせることができる。

●まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和元年12月20日、閣議決定)

スポーツを活用した経済の活性化:スタジアム・アリーナなどの集客力を有する施設を地域資源と捉え、施設に関わる多様な主体が一体となって、スタジアム・アリーナを核としたまちづくりに関する取組を支援する。

対象

全国の各都道府県・市区町村が所有する公立社会体育施設

整備内容

既存の体育館に対する換気扇・ファン・空気調整機の整備のための改修

補助率： 1 / 3



(整備の一例)
換気扇の設置



スポーツイベントの再開支援

令和2年度補正予算額：9億円

◆趣旨・目的

スポーツイベントの主催者による会場における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策及び継続的な集客等のための広報への支援を行うことにより、スポーツイベントの円滑かつ本格的な再開又は実施を促進する。

◆支援内容

以下の①～③に必要な経費の一部を補助する。

①新型コロナウイルス感染症の拡大防止

- ✓サーモメーター、消毒用アルコール等の購入
- ✓検温、監視、観客情報の把握など追加的な人員確保のために必要な経費（Cのみ）

②継続的な集客等のための広報

- ✓適切な感染拡大防止策を講じている旨の広報や集客のための広報に必要な経費
- ✓感染への不安等から自宅での観戦を希望する者や新規ファンとなり得る潜在的顧客に対し、臨場感を持って観戦可能な放送・配信用コンテンツの作成に必要な費用

③スポーツによる地域活性化・交流イベントの開催経費（Bのみ）

- ✓②の広報と一体的に実施することで相乗効果を図るイベント（一定基準以上のもの）の開催に必要な経費

◆補助対象等

A. 全国規模のリーグ又は大会の主催者であって、社団法人又は財団法人のスポーツ団体等
：1会場当たり 上限1,000万円（1/2補助）

B. 地域スポーツコミッション
：1団体当たり 上限 400万円（① 1/2補助、②③定額補助）

C. 障害者スポーツ団体
：上限2,000万円（定額補助）

【A. 及びB. の共通要件】

- ・スポーツイベントの中止、延期又は規模縮小により入場料収入や参加料収入等が減少していること

ハイパフォーマンススポーツセンターにおける感染症対策のための施設整備

令和2年度補正予算額：2億円

概要：ハイパフォーマンススポーツセンターの国立スポーツ科学センター（JISS）は、競技力強化のためのスポーツ医・科学研究の中核拠点として、我が国のトップアスリートの強化活動を支えている。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、今般の新型コロナウイルスをはじめとする感染症の感染拡大防止のため、JISSの空調設備を整備する。

スポーツ医・科学研究拠点の施設整備

国立スポーツ科学センター（JISS）



【空調設備（送風機）】



【空調設備（ファンコイル）】

費用：1.8億円

内容：竣工後、19年が経過しているJISSの空調設備（ユニット空調機、送風機、ファンコイル、ポンプ）の更新工事を実施する。

（整備箇所：シンクロプール、競泳プール、メディカルセンター、宿泊室等）



クラスター（集団）の発生のリスクを下げるための3つの原則

1. 換気を励行する
2. 人の密度を下げる
3. 近距離での会話や発声、高唱を避ける

「新型コロナウイルス感染症のクラスター（集団）発生のリスクが高い日常生活における場面についての考え方」（2020年3月9日 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議）より抜粋